

LIBERAL&amp;DEMOCRATIC

自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 東京03(3581)6211(代表)(毎週火曜日発行)

(昭和30年6月15日第三種郵便物許可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

厚別区版

北海道  
議会議員

## はなさき勝さん



皆さまには平素から温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。平成25年第1回定例道議会で一般質問を行い、①新たな科学技術振興戦略②レアメタルの回収③いじめ問題④学校図書館ーの4点について知事や教育長の見解を求めました。

本道を活性化させるためには、地域特性を生かした産業活動を創造して、地域全体で発信力を高める必要があります。また、次代を担う子どもたちの教育環境を整えることは、われわれ大人の責務です。こうした思いからの質問でしたが、それぞれ前向きの答弁をいただきました。

本道の経済・雇用は依然として厳しい情勢にあり、先行きは決して楽観できません。高橋はるみ知事は、道政執行方針で「この1年を『前進の年』と位置づけ、『新生北海道』づくりに取り組む」と表明しました。

私も1期目の折り返しになるこの1年、道議会で精一杯頑張ります。今日の一步を着実に踏み出し、前に進むことが未来の豊かな暮らしにつながると信じて行動します。

今後とも、皆さまの変わらぬお力添えをお願い致します。

北海道議会議員 花崎 勝

## 花崎 勝 道議のプロフィル

- ◆昭和28年8月9日生まれ
- ◆札幌市豊平区美園小学校、陵陽中学校を経て、昭和47年3月、北海高校卒業後、株式会社ワコール入社
- ◆平成21年から衆議院議員町村信孝氏の組織局長として活躍
- ◆現在 道議会関係 経済常任委員会委員、新幹線・総合交通体系対策特別委員会委員

## はなさき勝事務所

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20  
電話011(890)7055 Fax 011(890)7066

▲北海道植樹祭に参加し汗を流す



▲道議会防衛議員連盟で自衛隊第11旅団を視察



▲経済常任委員会の道内調査で道内の現場視察



▲新幹線・総合交通体系対策特別委員会の道外調査で九州を視察

見て  
聴いて  
走って  
応える

みんなの笑顔が  
ずっと続く未来に



着実に一步前に進む

「もっと元気な厚別区、活力ある北海道を」と、地道な取り組みを続けているのが花崎勝道議です。議会質問でも、日頃の研鑽の成果を生かして、北海道の明日につながる建設的な提言を行っています。「温もりのある道政を実現するため、全力で頑張ります」と、地域と道政とのパイプ役としてひたすら汗を流しています。



第一回定例道議会

# 花崎道議が 科学技術振興など 一般質問

平成25年第1回定例道議会は2月21日開会し、3月22日までの30日間の日程で、総額2兆6875億円の25年度一般会計予算案などを審議しました。花崎勝道議は3月6日の本会議で一般質問を行い、新たな科学技術振興戦略、じじめ問題などを取り上げて、知事や教育長の考え方をただしました。

## どんな研究開発に取り組むのか

I 新たな科学技術振興戦略について

(1) 現行戦略の取り組みと課題について(略)  
(2) 重点的に取り組む分野について

**荒川総合政策部長** 経済の活性化・自立化の実現、安全・安心な生活基盤の創造、環境と調和した社会の創造の3つの目標を掲げ、実現に向けて食産業立国の形成、健康・医療・福祉の向上、地球環境の保全、航空宇宙という4分野も研究開発を重点的に推進したい。

**(3) イノベーションの創出に向けた取り組みについて**

**花崎議員** 新たな戦略ではイノベーションの創出に向け、ど



(1) モデル事業の成果等について(略)  
(2) 市町村の責務と対応について  
花崎議員 4月1日から施行される小型家電リサイクル法では、市町村は小型家電の分別収集に努めることとされる。道内では回収の実施予定がない市町村が64あるが、どのような理由なのか。

## Ⅱ レアメタルの回収について

高橋教育長 今後、保護者が授業参観や保護者懇談会などに参加しやすくなるよう、休日の実施について指導助言することはもとより、提案も踏まえ、一定期間を設けて保護者が学校を訪れたり、教員が出向いて

（4）技術力の蓄積について(略)

する会議を立ち上げ、推進方策の検討を行う。

## 「子どもの学校へ 行ってみよう運動」の展開を

### Ⅲ いじめ問題について

（1）道徳教育の充実について

花崎議員 相手への思いやりの心を育てるなど、いじめを防ぐために「心のノート」を十分に活用した道徳教育を進めるべきだ。

高橋教育長 各学校ではすべての学級で用いているが、中には活用時間が少ない学校もあるなどの課題もある。今後は道徳の時間をはじめ、教育活動全体の中で「心のノート」を活用するため、新たに年間指導計画のモデルを示す。教師の研修会で、具体的な指導案を基に重点的な指導助言を行うなどして、豊かな心を育み、いじめの未然防止につながる取り組みの充実に努める。

（2）保護者との連携について

花崎議員 多くの学校では授業参観日に訪れる保護者の顔ぶれが固定され、子どもたちの姿を目にする機会がない。保護者が学校を訪れ、授業や休み時間の様子を見守る「子どもの学校へ行ってみよう運動」を展開してはどうか。

子どもの学校へ  
行ってみよう運動」の展開を

III いじめ問題について

100



地域で懇談会を実施するなど、効果的な方策を検討する。  
**(3)児童生徒の取り組みについて(略)**

## 道が「いじめ 防止条例」制定へ

## 都道府県では初めて

学校現場で「いじめ」が問題になつて います が、道は、都道府県では初の「いじめ防止条例(仮称)」を平成25年度中に制定する方針です。

道教委の調査では、24年4～9月に小中高校と特別支援学校が把握したいじめ認知件数は3478件で、前年度1年間の3330件を上回りました。いじめの内容で最も多いのは「冷やかしやからかいなど」が2427件でした。道警に寄せられた昨年の相談件数は101件で、児童生徒が検挙・補導された事案は6件でした。

こうしたことから、道教委は、学校だけではなく、社会全体でいじめ問題に取り組む必要があると判断。高橋知事は第1回定例会の自民党・道民会議の代表質問で、「より実効あるいじめ防止対策を進めるための条例の制定に向け、道教委と連携して取り組む」と答えました。

